

令和 6 年 6 月 17 日現在

機関番号：33908

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2021～2023

課題番号：21K00138

研究課題名（和文）豊田市中央図書館所蔵江戸期雅楽書とその周辺資料に関する基礎的研究

研究課題名（英文）A Research on Koromo Domain's Musical Documents of GAGAKU (Japanese Court Music) in Edo Period

研究代表者

明木 茂夫 (AKEGI, Shigeo)

中京大学・国際学部・教授

研究者番号：10243867

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,500,000 円

研究成果の概要（和文）：本研究は豊田市中央図書館所蔵の三河国拳母藩旧蔵書の調査、及びその雅楽関連資料の内容解析を柱としている。まず旧拳母藩主内藤家から同図書館に書物が寄贈された経緯を調査し、従来旧蔵者のはっきりしなかった雅楽関連資料が確かに内藤家の蔵書であったことを検証した。次に蔵書の内特に重要な写本である安倍季良『律呂（山鳥秘要抄）』の全文を翻刻して校勘を行い、これに詳細な注釈を加えた。また同書の撰者安倍季良の音階理論の詳細と仏教声明音階理論との関連を明らかにした。また調査の過程で入手した安倍季良と天皇家との関わりを示す記録（軸装本）や、中央図書館貴重書庫にて発見した未見の文書「舞楽目録」についても解析を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

江戸期において特に大きな藩とも言えなかった三河国の拳母藩にかくも貴重な雅楽資料が、しかも楽譜以外に、相当に専門的な雅楽理論書である『山鳥秘要抄』の非常に良好な写本が所蔵されていたことは、第四代藩主内藤政成が中央楽家に入門して熱心に雅楽の活動をしていたことに由来する。本研究ではその『山鳥秘要抄』の翻刻校注を作成して、その内容を明らかにした。さらに研究の過程で新たに発見した資料は、拳母藩と田安德川家との雅楽を通じた交流を示す可能性も示している。こうしたことを通して、地方の藩と中央楽家や徳川家との音楽文化の面での交流や音楽理論の伝授の実態をいささかなりとも明らかに出来たと考える。

研究成果の概要（英文）：In the Edo(江戸) Period, the Koromo Domain(拳母藩) in Mikawa(三河) had some collections of classical music materials and documents, such as "Sango Yoroku"(三五要録), "Kagura-uta Wagon Gohu"(神楽歌和琴合譜), and "Oo-noke Hihu"(多家秘譜). Many of them are the musical score or notation of Gagaku (Japanese Court Music). Among those documents, the manuscript of the GAGAKU musical theory book "Sancho Hiyou-syo" (山鳥秘要抄) written by Abe-no Sueharu(安倍季良) is especially valuable. In this research, we reprinted all the text of it from the manuscript to the text data, made text critique, and put annotations to analyze the musical theory of Abe-no Sueharu.

研究分野：中国古典音楽理論

キーワード：江戸期の雅楽 三河国拳母藩 内藤政成 安倍季良 山鳥秘要抄 東洋古典音楽理論 宮調・転調 豊田市中央図書館貴重書

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

### 1. 研究開始当初の背景

豊田市中心図書館貴重書庫には、江戸期の雅楽関連書が 20 冊ほど所蔵されている。これらは他の所蔵機関に所蔵されていないものや、原本が非公開となっている文献の写本などからなり、音楽史的に重要なものであるが、いずれも識語を持たないため、当地の三河国挙母藩に由来すると思われるものの、その旧蔵者がはっきりしなかった。その内特に重要なのが、京都方楽人で当時の雅楽理論家の中心であった安倍季良の『山鳥秘要抄』である。安倍家原本が非公開となっている本書については、現在数種類の写本が伝わっているが、豊田市中心図書館所蔵本は書写も丁寧で、校勘や注釈など多くの書き込みを有する貴重な写本である。本書は江戸期における雅楽理論、特に宮調や転調の理論書として価値が高いが、従来その本文翻刻や校注などは存在していなかった。こうした資料の調査により、挙母藩における雅楽活動の実態や中央楽家との関係、『山鳥秘要抄』における雅楽音階理論の詳細、江戸末期の中央と地方の雅楽の演奏面や理論面での交流などを明らかにできることが期待された。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、豊田市中心図書館の所蔵する雅楽資料の内容を分析すること、そしてこれら楽書を通じて挙母藩と中央の楽所や他の藩との交流関係、さらに仏教の学僧との交流関係を明らかにすることにある。特にこの内の音楽理論の伝授の書物『山鳥秘要抄』には雅楽や声明に用いられる音階や転調に関する詳細な記述があり、この内容を明らかにすることで今後の音階理論体系の研究に重要な情報を提供できる。また楽譜の分析は古歌謡の実体や幕末の朝儀復興の詳細を明らかにするための重要な資料となる。さらに、同図書館の蔵書を調査することにより、挙母藩から同図書館へ多数の写本が寄贈された経緯、その内の音楽資料の位置付けを明らかにすることも必要である。

### 3. 研究の方法

豊田市中心図書館の蔵書を、主たる対象である音楽関連資料に留まらず、挙母藩旧蔵と思しき書物全般にわたって調査し、これを旧藩主内藤家から豊田市へ寄贈された際の古い目録と照合して、現行の同図書館和装本目録に記載されていない情報を補填する。そしてこれを通して音楽資料の旧蔵者や書写者に関する検証を行う。また、同図書館所蔵の音楽資料すべてをデジタル撮影し、画像データを作成してこれを公開する。その画像を用いつつ、蔵書の内特に重要な『山鳥秘要抄』全文の翻刻を行い、これに校勘を加え、さらに詳細な注釈を作成する。これら蔵書に関連の深い挙母藩主内藤政成及び京都方楽人安倍季良に関する資料を収集し、彼らの雅楽活動、中央と地方との雅楽をめぐる交流、雅楽理論の伝授などについて調査する。

### 4. 研究成果

研究成果の柱としては、以下の二点を挙げることができる。即ち、豊田市中心図書館所蔵の音楽資料の調査を行い、それらが挙母藩旧蔵書であるのみならず、特に第四代藩主内藤政成と関連が深いことを明らかにした点、そしてその雅楽関連資料の内特に重要な雅楽理論書である安倍季良『山鳥秘要抄』全文の翻刻を作成し、校勘を行った上で詳細な注釈を作成した点である。挙母藩旧蔵書については、旧挙母藩主内藤家から同図書館に書物が寄贈された経緯を調査し、識語がなく旧蔵者が誰だったかについて確証のなかった雅楽関連資料が、確かに内藤家の蔵書であったことを検証した。また藩主内藤政成の雅楽関係の活動、特に中央楽家との関係を調査し、その調査の過程で見出した他の資料の識語などの証拠から、現在の同図書館所蔵本『山鳥秘要抄』が内藤政成の持ち物であったことを論証した。その成果は豊田市中心図書館講演会「挙母藩から豊田市に受け継がれた資料 ～貴重資料の和装本をめぐる～」で一般市民に向けて公開した。また『山鳥秘要抄』の内容に関する分析を進め、特にその俗楽調名の由来について論文「『詞源』巻上と『事林廣記』に見る八十四宮調圖 安倍季良『山鳥秘要抄』の「唐燕樂二十八調略圖」と「今傳來調子根元之事」をめぐる」において検証を行った。

『山鳥秘要抄』については、その全文の翻刻を行い、現在見ることのできる他の写本と照合して校勘記を作成し、その上で全ての条目に対して詳細な注釈を作成した。それらは中京大学の各種紀要にて公開済みである。

研究期間全体を通じた挙母藩蔵書及び『山鳥秘要抄』に関する研究成果は研究分担者遠藤徹氏および奈良県文化財保存課主査山田淳平氏との共著『豊田市中心図書館の江戸期学芸書 - 雅楽資料『山鳥秘要抄』とその周辺』(明木茂夫主編、汲古書院 2022) 或いは論文「豊田市中心図書館所蔵の挙母藩主内藤家旧蔵書について その受領の際の記録をめぐる」(中京大学図書館学紀要 43 号 2023) などで公開している。上述の二つの主な成果に関連して得られた研究成果としては、安倍季良の音階理論の詳細と仏教声明音階理論との関連を明らかにしたこと、安倍季良と天皇家との関わりを示す記録(軸装本)の解読を行ったこと、挙母藩主内藤政成を中心とした雅楽活動の実態を明らかにしたことが挙げられる。さらに豊田市中心図書館貴重書庫で行った調

査の際に、従来知られていなかった文書「舞楽目録」を発見した。これは音楽とは関係のない別の分野の書物の帙に無造作に挟み込まれていたものであり、同図書館貴重書庫全体に対する再調査を行わなければ見出し得なかったものである。拳母藩と中央楽家や田安德川家との関係を解明する糸口となる可能性を秘めた本資料を見出せたことも、望外の成果として付記しておきたい。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 明木茂夫	4. 巻 10
2. 論文標題 『詞源』巻上と『事林廣記』に見る八十四宮調圖 安倍季良『山鳥秘要抄』の「唐燕樂二十八調略圖」と「今傳來調子根元之事」をめぐって	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本宋代文学学会報	6. 最初と最後の頁 228-252
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 明木茂夫	4. 巻 20
2. 論文標題 詞籍「提要」訳注稿『欽定曲譜十四巻』	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 宋词研究会『風絮』	6. 最初と最後の頁 56-86
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤徹	4. 巻 2023
2. 論文標題 太宰春台『經濟録』の楽論についての一考察：移風易俗から日本音楽史へ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系	6. 最初と最後の頁 97-114
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 明木茂夫	4. 巻 43
2. 論文標題 豊田市中央図書館所蔵の挙母藩主内藤家旧蔵書について その受領の際の記録をめぐって	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 中京大学図書館学紀要	6. 最初と最後の頁 1-30
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 明木茂夫	4. 巻 42
2. 論文標題 『呂律早操旋宮図』 明治期の声明の調子早見表について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 中京大学図書館学紀要	6. 最初と最後の頁 56 - 66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 遠藤徹	4. 巻 73
2. 論文標題 田安宗武の雅楽研究序説 : 『楽曲考附録』の笙譜・箏譜による	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要. 芸術・スポーツ科学系	6. 最初と最後の頁 369 - 390
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計5件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 明木茂夫
2. 発表標題 中京大学所蔵日本古典音楽関連古典籍簡介
3. 学会等名 日本音楽学会中部支部第138回定例研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 明木茂夫
2. 発表標題 拳母藩から豊田市に受け継がれた資料 ~貴重資料の和装本をめぐって~
3. 学会等名 豊田市中央図書館講演会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 明木茂夫
2. 発表標題 安倍季良の卷子本「尊詔親王御筆」について
3. 学会等名 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター3月共同研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 明木茂夫
2. 発表標題 和装本の愉しみ 図書館に伝わる江戸時代の書物に触れる
3. 学会等名 豊田中央図書館・中京大学文化科学研究所共催講演会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 明木茂夫
2. 発表標題 豊田中央図書館に伝わる江戸時代の雅楽書 - 拳母藩主内藤政成との関わりをめぐって -
3. 学会等名 シンポジウム「三河の雅楽伝承をたずねて」（主催神戸大学寺内直子、共催中京大学文化科学研究所）
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 柳沢昌紀編著	4. 発行年 2024年
2. 出版社 汲古書院	5. 総ページ数 272
3. 書名 中京大学所蔵古典籍・古文書の研究	

1. 著者名 明木茂夫・遠藤徹・山田淳平・中川豊	4. 発行年 2022年
2. 出版社 汲古書院	5. 総ページ数 346
3. 書名 豊田中央図書館の江戸期学芸書 雅楽資料『山鳥秘要抄』とその周辺	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	遠藤 徹  (Endo Toru)  (10313280)	東京学芸大学・教育学部・教授    (12604)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------